

△産業宣教 エッセイの産業宣教 (I サム 17:18)	△レムナント伝道学 ダビデの羊飼いの時期 (詩 78:70-72)	△核心/子ども宣教局礼拝 永遠の一生の答えを見つける道 (詩 23:1-6)	△散らされた弟子たち ダビデが受けた苦難 (詩 23:1-6)
<p>ダビデの父親エッセイがした産業宣教の最も大きなことは、次世代ダビデをリーダーにしたことだ。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 神様のやぐらがレムナントに永遠の嗣業になって、契約の旅が永遠の作品になるようにさせるべき。神様が建てられる時代的道しるべが永遠の遺産になるべき。 朝、昼、夜 正しくなされる祈りが3集中だ。3答えはすべての問題の中に答えが、すべての葛藤の中に更新が、すべての危機の中に機会が入っているということだ。神様のやぐらが私のプラットフォーム、神様の作品、旅程が私の見張り台、神様の道しるべが私のアンテナだ。これが3つのセッティングだ。 常識の中で超越的答えが出て来る。羊飼いであったが、世界を変化させる答えを受けた。 <p>□本論_小さな生活の中でレムナントが、神様が私とともにおられ答えられるのかを確認してみれば自負心ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 詩 78:70-72 <u>羊飼いの最高水準</u> <ol style="list-style-type: none"> 羊飼いであったとき、ダビデは重要な神様のみことばを学び 祈りの奥義を学んだ。 王として、指導者として育てる内容。未来に対すること I サム 16:1-13 <u>大祭司訪問</u> <ol style="list-style-type: none"> 油を注いだ。ダビデが神様の選ばれた人という意味 すべき重要なミッションを受けるようになって、ダビデは準備された。 I サム 16:13、23 幼いダビデにこの日以来主の霊が激しく下ったのだ。霊的サミットに先になるべき I サム 17:1-47 <u>お使い</u> <ol style="list-style-type: none"> 侮辱 (呪い) ゴリヤテが主を侮辱。ゴリヤテに勝つ石を持って行った。 御名 ダビデは主の御名で立ち向かうと言った。このゴリヤテは自分たちが信じる神の名で呪った。ダビデは主の御名で出て行った。 主のしもべ、ベツレヘム、エッセイ ダビデはサウルが尋ねたとき、三つで答えた。主のしもべ、ベツレヘム人、エッセイ。神様の契約が成就すれば、主の御名が高められる。故郷と親の名が高められる。 <p>□結論_石を投げること (神様の御手) 決定的な瞬間、ダビデが幼い時、石を投げることひとつを持ってゴリヤテに勝った。これが重要な言葉だ。ダビデが投げた石が神様の御手に用いられたのだ。</p>	<p>ダビデの羊飼いの時期-まことのEliteになるべき。</p> <p>□本論_ダビデから出てくる五つのこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 誠実であり、羊一匹も失わなかった。 <ol style="list-style-type: none"> 常に契約の中にいた。 黙想に関する記録が多い。 技能面で、羊飼いとして最高であった。 <p>△契約の中で、正しく黙想して、<u>最高</u>の祝福を味わいなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> 専門性-羊一匹も失わなかったということは、とても優れた技能があったこと <ol style="list-style-type: none"> 年齢は幼いが霊的サミットに先になった ここで技能サミット、 文化を変える文化サミットになる。 <p>△契約の中にいれば、ついて来る。私たちは計算でなくて、神様との関係だ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 世の中ことを超えるくらいの信仰を備えていた。 <ol style="list-style-type: none"> WITH -主が私とともに、主は私の羊飼い、避け所、避ける巖、力だと常に告白した。 Immanuel を常に味わった。 Oneness -すべての困難もみな、神様の計画だ。 みことばをたくさん知って、暗唱していた。そのとき、みことばが生き返る。 <ol style="list-style-type: none"> 真の力、2) 真の癒やしが起こる。 真の救いと道が見える。「みことばは私の道で、灯で、光だ」 幼いとき、未来(王)に対する確実な契約を持っていた。 <ol style="list-style-type: none"> 神様が造られた私、 神様が準備された私のこと、 神様が行われる私の現場を持っていた。これがまことのエリートだ。 <p>□結論_幼いときに決断を下せば、必ず答えが来て、一生成就する。それゆえ、子どもたちを集めてみことばで訓練するのだ。</p>	<p>ピリポ・カイサリアーローマ福音化まで準備 未来指導者訓練(小・中・高・大) -イエス様が聖書で<u>過去、今日、未来</u>と2000年後のことを繰り返して話された。<u>永遠</u>というメッセージを与えられた。これをレムナントに確実に植えるべき。</p> <p>胎児(根本を作り出す時間) 幼児、幼稚、子ども(基礎が作られる時間) 中高(方向決定)大学、青年(道発見) 既成世代(神様のやぐらをプラットフォームとして、旅程を見張り台として、道しるべをアンテナとして立てるべき)</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 祈りの奥義を持つ者(詩1篇、23篇) <ol style="list-style-type: none"> 3集中-生活の中で祈りが幸せに出て来るべき。 3答え-先に問題から答え、葛藤の中で祝福、危機の中で機会を発見 3セッティング(一生のことを編集、設計、デザイン)-プラットフォーム、見張り台、アンテナが成り立つこと <p>△小学生に心の畑ができるようにすべき。ダビデは味わったので、私は乏しいことではないと言った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 一生の答え-時刻表を見た <ol style="list-style-type: none"> 詩 78:70-72 幼い時期 I サム 17:1-47 青少年時期-ゴリヤテに勝った。 詩 23:1-6 青年時期-成功したので、当然問題が来るようになる。 I 歴 29:10-14、4:1-5 王の時期-神殿と1千やぐらを建てた 永遠の答え(目標) <ol style="list-style-type: none"> 雅 4:1-5 1千やぐら建てることからした。 レムナントは全世界にやぐらを建てる準備をせよ。牧師はまことのやぐらを建てなさい。教会が世界宣教をできるべき。 長老の産業が1千やぐらが建って伝道運動が起こるべき。 I 歴 29:10-14 三つの庭がある神殿を作るべき。 詩 119:10-12 主のみことばを私の心に蓄えました。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 金土日時代(麻薬時代を防ぐこと) 三つの庭時代(精神病時代を防ぐこと) コンセプト-なぜすべきなのか。わざわいのためにすべきだ。コンテンツ-ただキリストで霊的癒やしでなければならぬ。システム-すると、どのようにすべきなのか。これだけあればメディア時代を生かすことができる。 	<p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> PK、MK 先にすることがある-ものすごい使命を感じることができる喜びの覚悟があるべき。 すべての苦難を一祝福にする力を持つ。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> I サム 18:6-9 サウル王がダビデを憎む。確実な神様の<u>こと</u>が私にあれば、ねたみ、嫉妬がなくなるが、それがなければ、そうなるしかない。 I サム 19:1-41 サウル王がダビデを殺すためにダビデを婿として、ダビデは刺客を送る。 I サム 21:1-15 ダビデが<u>フ</u>の地に逃げたがダビデを助けたという理由で祭司アヒメレクを殺す。 I サム 23:15-29 <u>エン・ゲデ</u>の洞穴に隠れたダビデがサウル王の上着の裾を切って見せた。ダビデは余裕がとても多いすごい人だ。 I サム 26:1-25 <u>ハキラ</u>の丘でダビデを捕まえて来たが、ダビデはかえってサウルを警護している人の槍と水差しを盗んでくる。ダビデは、普通の祈る人ではない。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> MK 多民族の弟子 TCK 絶対やぐらだ。この人たちのために祈るべき。

△区域メッセージ第7週 金土日時代の重職者と永遠の答え(Ⅱ列 6:8-23)	△聖日1部 危機に遭遇した初代教会(使 12:20-25)	△聖日2部/237 宣教委員会献身礼拝 答えをあらかじめ味わう宣教(使 13:1-4)
<p>金土日時代(文化)-重職者-永遠の答え 金土日時代は次世代のためのことだ。一番最初にアメリカに金曜日から休む文化が私たちのより早くあったが、子どもたちが集まって遊ぶ雰囲気になると、麻薬もするようになったのだ。このとき、重職者が答えを与えて多くのことを案内するようになれば、レムナントは一度会ったが永遠の答えに変わる。</p> <p>□序論_出会い △出会いを通して、いのちと重要なメッセージを与えるのだ。<u>オバデヤ</u>という重職者を通して<u>預言者 100 人</u>が生かされ、<u>7 千人の弟子</u>が起き、<u>オバデヤのお使い</u>で<u>エリヤ</u>、<u>エリシャ</u>も力を受けて、<u>ドタンの町運動</u>が起こったのだ。</p> <p>□本論 1. ドタンの町運動(原因) 1) 7 やぐら-これを建てれば良い。 2) 7 旅程-相手の話を聞いて神様のみことばで答えを与えてあげれば 7 旅程を行くことができる。 3) 7 道しるべ-あちこちに光を照らすことができる 7 道しるべを行くようになる。 2. 絶対やぐら(結果) 1) 教会-どこへ行っても伝道して 1, 2 人、2~3 人が集まって祈れば、それが教会だ。 2) RT 運動-どこにいてもレムナント運動をするのだ。 3) ドタンの町(勝利)-絶対やぐらを建てておくから戦わないで勝利するのだ。 4) 三つの庭-他の人、国を生かすようになって、異邦人の庭、子どもたちの庭、癒やしの庭が作られる。 5) 弟子-多くの他の弟子が起きるようになる。 6) 光の経済-光の経済を生かす部分がついて来るようになる。 3. 伝達(証人) 1) 祈り-金土日時代を開いて難しい子どもたちに力を与えて、病んでいる者には祈るようにさせて祈りの奥義を教えるのだ。 2) 専門性-彼らに私たちの経験を持って専門性が何かを教えるのだ。 3) RT -聖書が一番重要なレムナント、残りの者であることを教えるのだ。 4) TCK-行き来する所がない人々、多民族がたくさん来ている。 5) やぐら(光)-レムナントが自らのやぐらを建てて光を放つようにさせてあげるのだ。</p> <p>□結論 1. みことば(刻印)-神様のみことばを聞いて恵みを受けるとき、刻印される。 2. 生活(根)-刻印されていれば生活の中で根をおろすのだ。 3. 未来(体質)-この部分が私たちの未来を左右するようになるが、これを体質と言う。 △レムナントは今日の聖日、人の話を聞かずにみことばを握って祈りだけすれば良い。</p>	<p>□序論 1. 危機に会ったり、危機に会っている人を見るとき 1) 注意すること、神様を求めないで人を求める。新しい信徒は昔に、既存信徒は律法に、霊的問題を持っている人は傷に戻る。 2) 答え 神様に戻る。祈れば正確な答えと未来が見える(ピリ 4:6-7)</p> <p>2. 危機が来た理由 1) 私の間違いゆえにきた危機 神様に戻れば神様が身分を回復(I ヨハ 1:9) 2) 矛盾した世の中のためにきた危機 ただ義人は信仰によって生きる(ハバ 2:1-4) 3) 福音を邪魔するためのサタンの戦略で来た危機 神様の子が来られたことは悪魔のわざを打ち壊すためだ(I ヨハ 3:8)</p> <p>3. 危機-滅亡の道、機会の道 1) 神様がない道には個人の終末、契約がある神様の子どもにはターニングポイント 2) 征服する道 3) 初代教会 神様のまことの力を見る機会、答えを受ける機会(すべての教会信徒が祈り始める)</p> <p>□本論_祈るときに起こること ※霊的に力がない人々を生かすべき 1. 世の中が理解することができない天地開闢の働き 1) 神様が主の使いを送って 2) 祈る時間に神様は主の使いと御使いを派遣 3) 確実な未来(世界福音化)が見える時まで祈り 2. カルバリの丘の約束、オリブ山の約束、マルコの屋上の部屋の答えが成就し始める 1) イエスの約束(マタ 28:18-20、マコ 16:15-20、使 1:8)が成就して、残りの者、巡礼者、征服者が起こり始める 2) 深い祈りの中で確実な神様の未来を見て伝達した RT 7 の親 3) 確実な神様の未来を握りなさい(マタ 24:14、使 1:8) 3. 0.1%の人が光の証拠を持って未来を生かすことが残っている。 1) イスラエル、マケドニア、ローマのわざわいを防いだ。 2) 世界福音化とわざわい防ぐことが残っている。 3) 契約を握って答えが見える時まで集中 (1) 奴隷として行ったヨセフ-神様が総理として立てたヨセフ (2) 養子に行ったモーセ-悟った日から世界指導者 (3) 羊飼いだっただビデ-世界福音化するように王に (4) 捕虜に行った人々-王を指導する先生</p> <p>□結論_金土日時代 1. 金曜日-癒やす本格的な祈り 1) イエス・キリストの御名で私が祈り 2) 霊的力を受けるとき、すべての細胞と霊的世界は変わる。 3) 聖書にあるとおりにしなさい。(イエスの御名で祈り、深い呼吸祈り、食べ物調節、運動) 2. 土曜日-他の教会も助けてレムナントを生かす核心集い 3. 聖日-すべてをまとめて、すべてを始める礼拝</p>	<p>宣教をどのようにしなければならぬのか。答えを先に味わう宣教だ。ほとんどの宣教する答えと力がない。重要な方法をのがしたためだ。</p> <p>どのように? 契約(味わう)、御国(待つ)、地の果て(挑戦)-契約の中で味わっていけば良い。神の国を待つのだ。地の果てが見える。挑戦だ。 エルサレムを離れずに父が約束されたことを待ちなさい。聖霊に満たされれば力を受ける。すると地の果てまで行く証人になる。この言葉が分かって聞く人は、いのち運動が起こっている。味わうことを知るべきだ。</p> <p>□序論_理由 1. 身分-権威 1) 暗闇伝染病 2) 暗闇のわざわい 3) 暗闇の文化を防ぐ身分、権威を与えられた。 2. 背景 1) やぐら-3 集中(朝、昼、夜、呼吸に合わせてあらゆる事を祈りに変えなさい) 2) 旅程-3 答え(問題の中に答えを見つけること、葛藤の中で更新すること、危機の中で特別な計画を見つける機会) 3) 道しるべ-3 セッティング(プラットフォーム、見張り台、アンテナ) 3. 力を約束 1) 237-5000 種族を生かすか-祈りだけ正しく理解すれば答えが来る。 2) 学業-2030-2080 はメディア時代、コンテンツ準備 3) 産業-御座(神の国のこと)、時空超越の働きが起こる。空前絶後の答えを受ける。</p> <p>□本論_いのちをかける価値発見 1. 答えから先に与えられた。 1) カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の部屋そのままを再現させた 2) 使 1:3 神の国 3) 使 1:8 ただ聖霊の力、証人になることを与えられた 2. やぐらから先に建てられた。 1) 聖霊の導きを受けて場所 2) 働き 3) 人 3. 見張り人を立てるのだ。これが弟子だ。 1) 使 13:1 ヘロデの乳兄弟 2) 使 13:5-12 その町に最も影響を与える魔術師を倒した。 3) 使 13:12 (総督がみことばを受けた)</p> <p>□結論 やぐら 人が来るしかはないプラットフォーム、癒やす見張り台、世界と通じるアンテナ 1. 三つ庭から作りなさい。 2. 金土日時代を開きなさい(金-病んでいる者が治るように、答えを確実に与えなさい。土-タラント発見、日-昨日まで働かれた神様のみことばと前へ行くみことばである講壇を握ること) 3. 24、神の国が成り立つ 25、永遠の作品として残る 00 △3 集中、3 答え、3 セッティングしてみなさい。安らかに、そのまましなさい。</p>